

肺癌 salvage 手術の後方視的研究：導入療法後の手術との比較に関する研究

1. 研究の対象

2000 年 1 月～2020 年 12 月に当院にて肺がんで術前に薬物療法または放射線療法を施行し、後に手術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

肺癌に対して化学療法（分子標的治療剤、細胞障害性抗がん剤）または放射線治療を受けた後に、あらかじめ、予定された手術を受けた方の治療成績と、化学療法または放射線治療が予定されておらず、再発や腫瘍の残存を理由に手術を受けられた方の治療成績を後ろ向きに集積して解析することで、その切除の有効性・安全性を検討し明らかにすることです。

研究期間は承認日から 2 年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、合併症、生命予後などの情報など

4. 外部への試料・情報の提供

埼玉県立がんセンターおよび金沢医科大学で共同研究する。

（提供）金沢医科大学呼吸器外科へ匿名化した情報を提供する。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

共同研究施設 金沢医科大学 呼吸器外科 研究代表者 教授 浦本 秀隆（元 埼玉県立がんセンター 胸部外科 科長兼部長）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県北足立郡伊奈町小室 780 埼玉県立がんセンター 胸部外科

電話番号 048-722-1111

研究責任者：胸部外科科長 平田 知己

-----以上